



銀しろがねも金くがねも玉たまも何せむにまされる宝子やまのうえのおくらに
 しやまのうえのおくらかめやも
 (8世紀 万葉集 山上憶良)

～父母であること～

あなたは子供たちに愛を与えることはできるが、あなたのものの考えを与えることはできない。なぜなら、子供たちは子供たち自身のものの考えをもっているのだから。

あなたは子供たちのからだの世話をすることはできるが、彼らの魂をそっくり飼いならすことはできない。なぜなら、彼らの魂は明日という住み家に息づいているのだから。

あなたは子供たちのようになろうとつとめてもよいが、子供たちをあなたのようにしようなどとしてはいけない。なぜなら、人生は後向きにすすんでいくものでもないし昨日のままでとどまっているものでもないのだから。(5世紀頃 ペルシャの詩)



遊びをせんとや生れけむ

たわぶ
戯たわぶれせんとや生れけむ、

遊ぶ子供の声きけば

ゆる
わが身さへこそ動ゆるがるれ

(12世紀 梁塵秘抄)



ミミコの独立
 とうちゃんの下駄なんか
 はくんじやないぞ
 ぼくはその場を見て言ったが、
 とうちゃんのなんかはかないよ
 とうちゃんのかんこかりてつて
 ミミコのかんこはくんた と言うのだ。
 こんな理屈をこねてみせながら
 ミミコは小さなそのあんよで
 まな板みたいな下駄をひきずって行った
 土間では
 片隅のかますの上に
 赤い鼻緒の
 赤いかんこが
 かぼちやと並んで待っていた
 (20世紀 山之口獏)



ぼくとピアノ 小島辰仁(3年)

時々ぼくは、／電子オルガンのろく音きのうで／3日前にろく音した自分のピアノをかけて／練習しているふりをする。／そしてお父さんをだましている。／だからお父さんは、／「よく練習しているな。」／と言っている。／でもお母さんにはバレる。／だからお母さんが、／「そちも悪よのう、小島屋。」／と言ってぼくのかたをぶつ。／ぼくは、／「おぶぎょう様にはかないませんわい。／化ヒヒヒ…」／といつも言っている。

(21世紀 増田修治「笑う子育て実例集」より)

東通村教育委員会

教育：人の可能性を引き出すこと

何かを教える、型にはめるのではなく、もっている可能性をその人の力で開かせる、そのためのサポートが教育である。